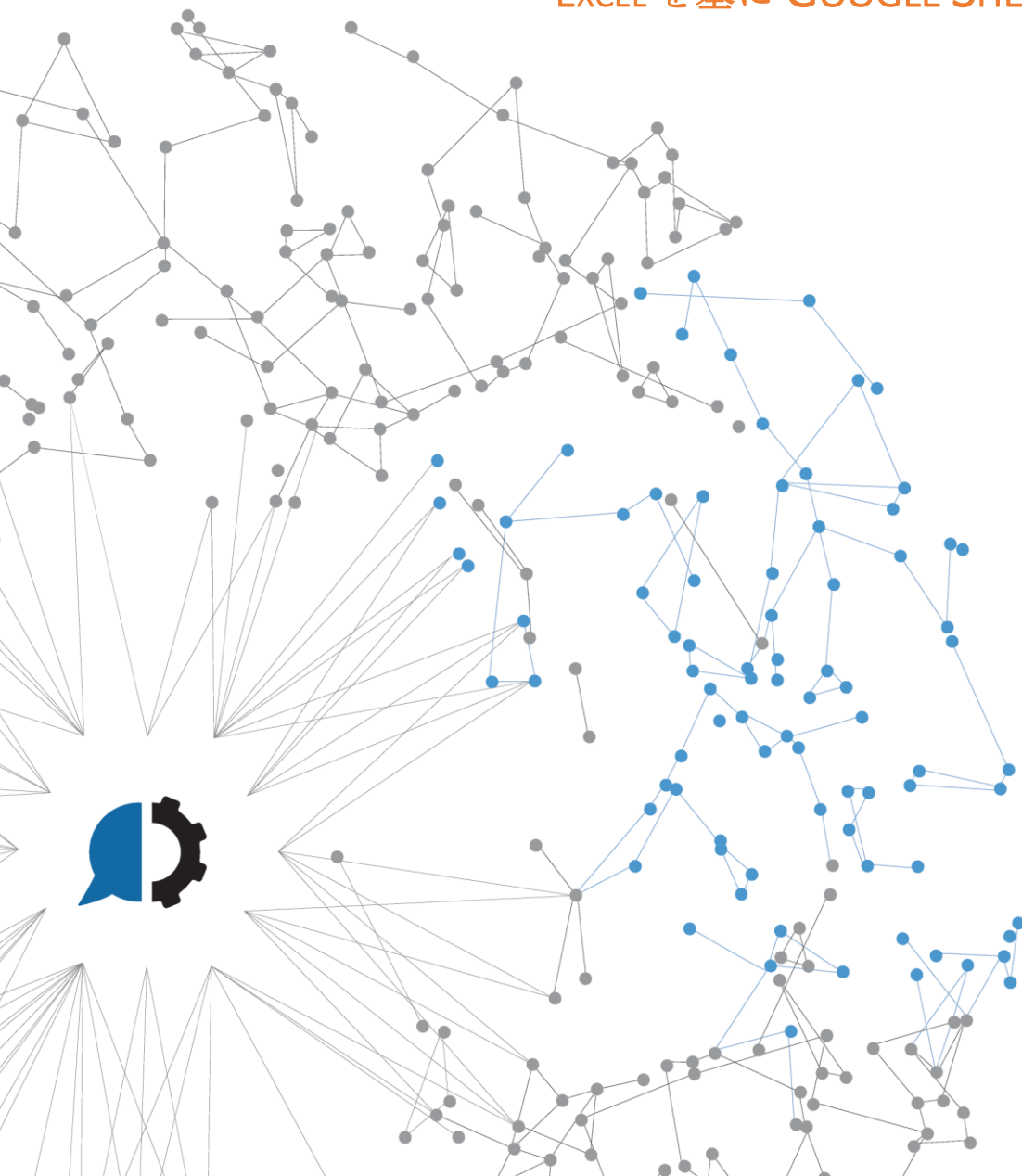




GOOGLE DRIVE BOT

EXCEL を基に GOOGLE SHEETS をエクスポート





内容

概要	3
前提条件	4
AUTOMATE タスクをインポートする方法	6
INPUT ファイルの生成方法	7
GOOGLE DRIVE - EXCEL を基に GOOGLE SHEETS をエクスポート を実行する方法	8
付録 A - EXCEL 結果例、GOOGLE とローカルドライブにファイルを保存	10
付録 B - トラブルシューティング	11



概要

この How to ガイドでは、*Google Drive - Excel* を基に *Google Sheets* をエクスポートをご紹介します。繰り返し行われる手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに、AutoMate に任せて、ロボットプロセスオートメーションで IT とビジネスプロセスを合理化してください。AutoMate は、手動で行っていた作業を代行し、繰り返し作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

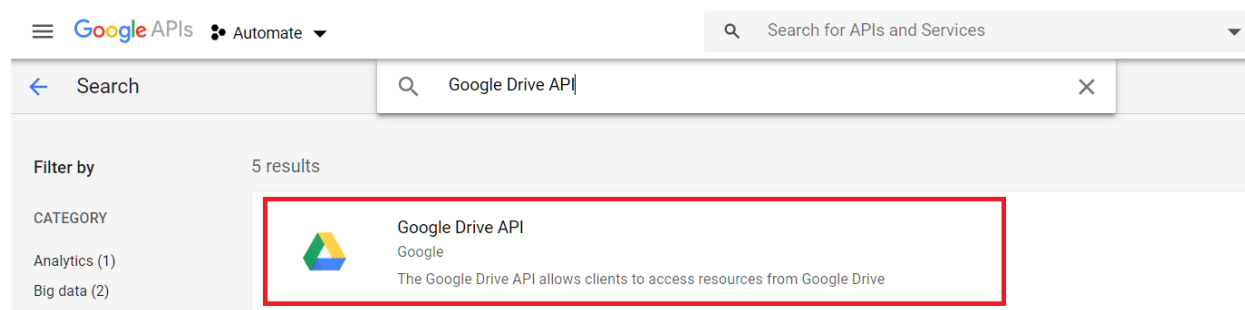
Google Drive - Excel を基に Google Sheets をエクスポートは、**Google Drive API** をベースにしています。このタスクで提供される Google Sheets INPUT の Excel ファイルに記載されているファイルを、HTTP GET メソッド“*files*”を実行することでエクスポート/変換を行います。完了後、エクスポートする Google Sheet セットごとに実行結果が Excel ファイルに更新されます。Google Sheets をどのような**形式**に変換してダウンロードするかを設定することができるようになります。このボットは、ユーザー名とパスワードの使用を避けるため、API トークンによる認証方式を採用しています。トークンは、Authorization Code の生成時に使用されるアカウントとスコープに関連付けられます。「[前提条件](#)」、「[INPUT ファイルの生成方法](#)」、「[GOOGLE DRIVE - EXCEL を基に GOOGLE SHEETS をエクスポートを実行する方法](#)」をよく確認し、詳細情報を入手してください。.

また、**GOOGLE - トークンの生成と更新** bot も用意されており、この bot が日常的に機能するように、最初のトークン作成と更新を簡単に行えるようになっています。デフォルトでは、トークンは1時間後に失効します。このボットは OAuth Authorization Code Workflow をベースにしています。



前提条件

- **AutoMate:** Google Drive Bot が動作するためには、AutoMate ソフトウェアが必要です。最低限サポートされているバージョンは以下の通りです。
 - [AutoMate Ultimate 11.2](#)
 - [AutoMate Plus 11.2](#)
 - [AutoMate Desktop 11.2](#)
- **AutoMate Markup Language ファイル (.AML):** Google Drive Bot タスクのステップを含む、AutoMate で使用される主要なファイルタイプです。
- **Google Drive API:** 必要となる最小要件は、以下の通りです。
 - **Google アカウントで Google Drive API を有効化する:** Google Drive に API で接続できるようにするためには、デベロッパーコンソールのアカウントで有効にする必要があります。これを行うには、[リンク](#)からコンソールに入ります。初めてログインすると、プロジェクトを作成するように指示されます。次の画像では、プロジェクト名を“Automate”としたことがわかります。左側の API [ライブラリ](#)メニューから、Google Drive API を探します。



有効にすると、次のように表示されます。



Google Drive API

Google

The Google Drive API allows clients to access resources from Google Drive

MANAGE

TRY THIS API [↗](#)

✓ API Enabled



- **Google Drive API に接続するためのトークンを作成する:** API が有効になったら、Google が提供するこの [リンク](#) 内の手順に従って、次のスコープを持つ **OAuth 2.0 Token** を取得し、Google Drive データを読み取れるようにします。

`"https://www.googleapis.com/auth/drive"`

`"https://www.googleapis.com/auth/drive.readonly"`

また、OAuth2.0 Authorization Code Workflow に基づいた「**GOOGLE - トークンの生成と更新**」も [BotStore](#) で提供していますので、合わせてご利用ください。このボットは、トークンとトークン-リフレッシュを維持し、日常的にこのボットを実行することができる簡単な方法を提供します。

- **Google Drive API バージョン:** このボットは、Google Drive API v3.を使用して作成されています。

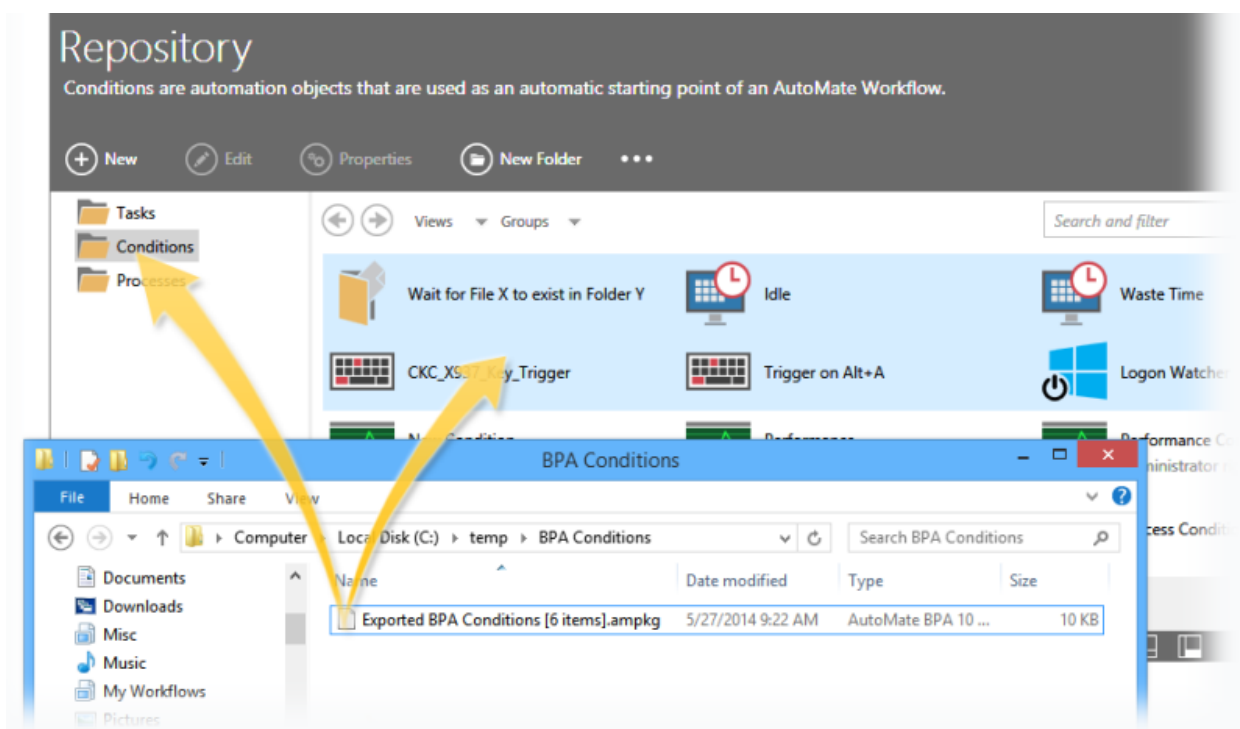


AUTOMATE タスクをインポートする方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでリポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソール(SMC)から、[リポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。





INPUT ファイルの生成方法

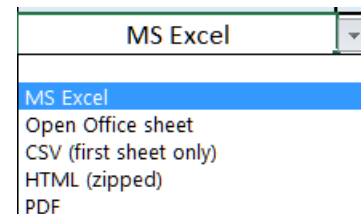
このボットに同梱されている入力ファイル“*Google Sheets Input.xlsx*”は、トランザクションの全項目を自動的に入力するための一覧表を提供します。

The Excel INPUT file

A	B	C	D	E	F
Google Sheets to Export			Exported?	Details	
Google Sheet Name	Export Format	Destination Folder	Yes/No	Date	File ID / Result Message

注:

- **赤い項目**は必須です。
- Bot は Google Sheet Name を利用して、Google Sheet ID を内部で取得します。
- 保存先フォルダには、結果のファイルを保存するローカルフォルダのパスを指定します。
- エクスポート形式は、以下のいずれかを選択することができます。



- INPUT ファイルの D～F 列には、エクスポート/コンバート時に実行結果とシート ID が記入されます。結果に関する例は、[付録 A](#) を参照してください。

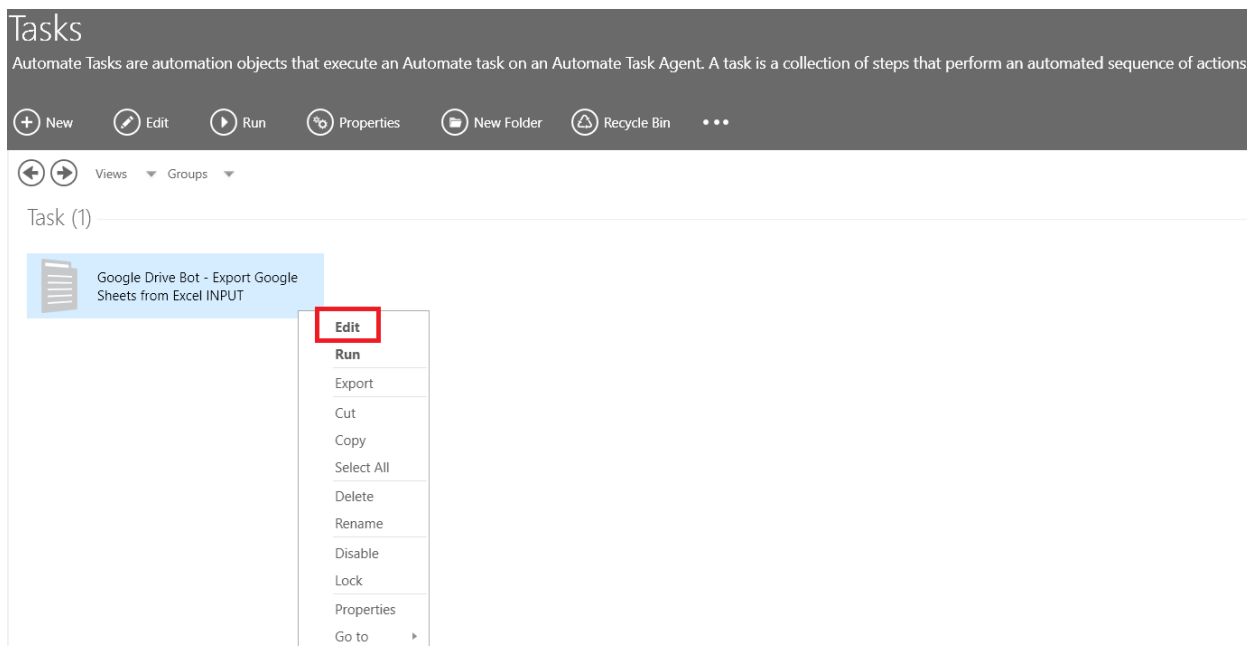


GOOGLE DRIVE - EXCEL を基に GOOGLE SHEETS をエクスポート を実行する方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、編集を選択して編集します。



ステップ 2 からは、希望する出力に応じて次の変数を編集してください。

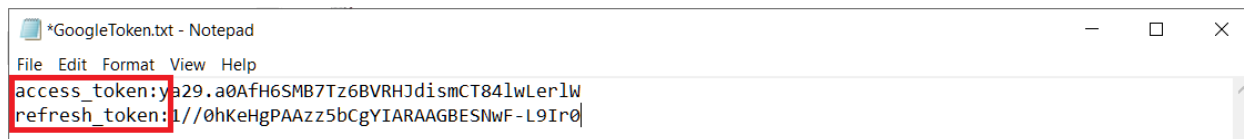
- **var_ExcelInputFile**: エクスポートする Google Sheets の INPUT ファイルの場所パスと名前を設定します。例: D:\Automate\Google Sheets Input.xlsx
- **var_Token**: 接続用トークン (String) またはトークン情報のあるファイルのパスを設定します。トークンは、接続/要求するアカウントに関連付けられることを忘れないでください。トークンの値そのものか、トークンの情報が入った.txt ファイルがあるパスを設定することができます。例: C:\Automate\ GoogleToken.txt

.txt ファイルを使用する場合、トークンは次のような形式/構造でなければなりません。

access_token:TokenString



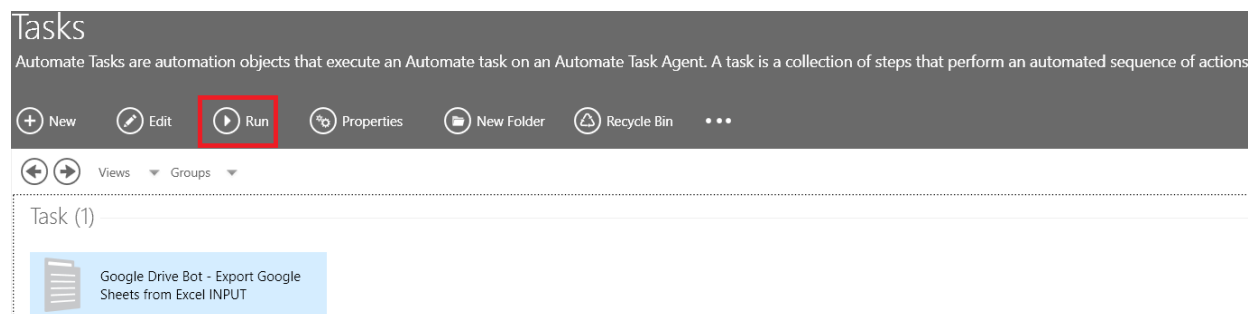
ファイルの例::



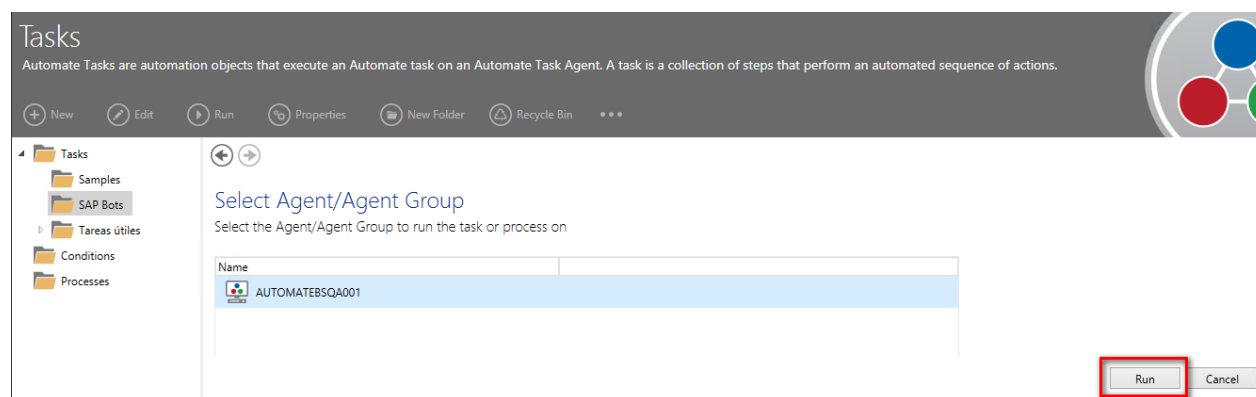
`refresh_token` の値がありますが、これは「Google Bot – トークンの生成と更新」で管理されていることに注意してください。

タスクを保存して閉じます。

タスクを選択し実行をクリックします。



Agent を選択し、再度「実行」をクリックします。





付録 A – EXCEL 結果例、GOOGLE とローカルドライブにファイルを保存

ドライブ上の Google Sheets ファイル:

My Drive > Automate ▾

Name ↑	Owner	Last modified	File size
Sheet 1	me	Jul 27, 2020 me	–
Sheet 2	me	Jul 27, 2020 me	–
Sheet 3	me	Jul 27, 2020 me	–

結果が入力された Input Excel ファイル:

A	B	C
Google Sheets to Export		
Google Sheet Name	Export Format	Destination Folder
Sheet 1	MS Excel	D:\Automate\GoogleSheets\
Sheet 2	CSV (first sheet only)	D:\Automate\GoogleSheets\
Sheet 3	PDF	D:\Automate\GoogleSheets\
Sheet 1	Open Office sheet	
Sheet 2	HTML (zipped)	

D	E	F
Exported?	Details	
Yes/No	Date	File ID / Result Message
YES	28/07/2020 9:15:30 AM	1zZ2Re0xUDmqAM-o3F1PmnqDqi9KphA089PXW4Z3HBCU
YES	28/07/2020 9:15:33 AM	1iurn-AiqW4eM2GWG7txawTxahouqqyQlHr2U_LrPAw8
YES	28/07/2020 9:15:36 AM	13A9nQXMGR7LOOLAy5QcMS86qDWIIZJ1C6SAhNkvnkOY
YES	28/07/2020 9:15:41 AM	1zZ2Re0xUDmqAM-o3F1PmnqDqi9KphA089PXW4Z3HBCU
YES	28/07/2020 9:15:43 AM	1iurn-AiqW4eM2GWG7txawTxahouqqyQlHr2U_LrPAw8

ローカル結果ファイル:

> Automate > GoogleSheets

<input type="checkbox"/> Name	Date modified	Type	Size
<input checked="" type="checkbox"/> Sheet 1.ods	28/07/2020 9:15 AM	OpenDocument S...	11 KB
Sheet 1.xlsx	28/07/2020 9:15 AM	Microsoft Excel W...	4 KB
Sheet 2.csv	28/07/2020 9:15 AM	Microsoft Excel Co...	1 KB
Sheet 2.zip	28/07/2020 9:15 AM	zip Archive	192 KB
Sheet 3.pdf	28/07/2020 9:15 AM	PDF File	26 KB



付録 B – トラブルシューティング

- ログ: ボットの各反復は、トラブルシューティングのためにログファイルを作成します。ログファイルは、C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>の下にあります。デフォルトでは、タスク名は「*Google Drive Bot - Export Google Sheets from Excel INPUT*」です。



About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and AutoMate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people